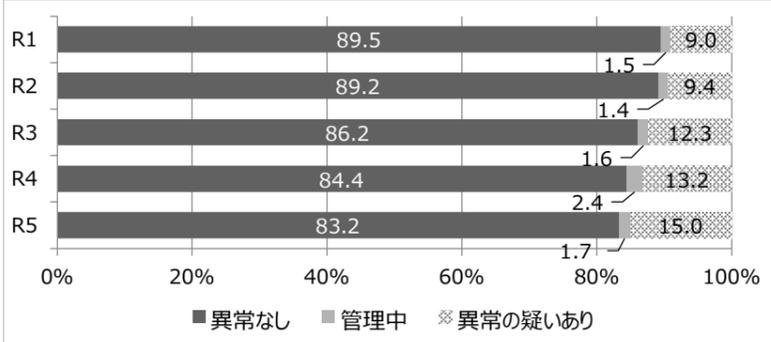
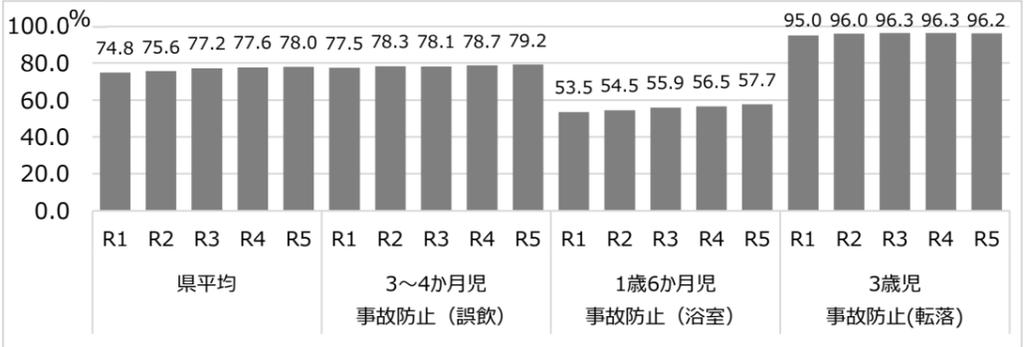


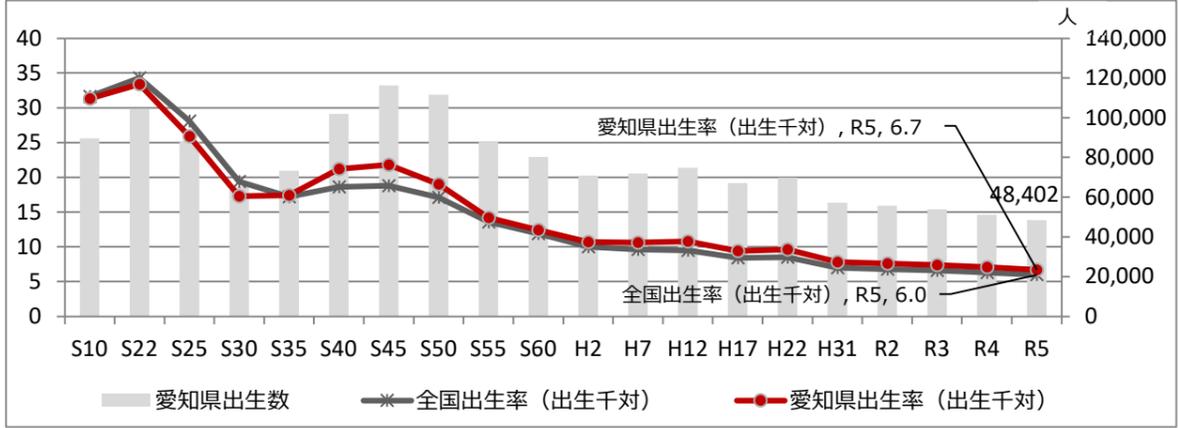
ア 母子健康診査等専門委員会（2024年10月9日開催）

【目的】母子健康診査情報の分析・評価及び愛知県母子健康診査マニュアル第10版の情報システムの活用について検討し、県内の母子健康診査の質的向上及び母子保健事業の推進を図る。

構成員	主な協議事項及び結果																																									
<p><委員長> 杉浦至郎 (あいち小児保健医療総合センター保健室長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科医会代表者 歯科医師会代表者 学識経験者 市町村代表者 あいち小児センター 保健所長代表者 保健所健康支援課長代表者 <p>計 11 名</p>	<p>1 2023年度乳幼児健康診査の実施結果について</p> <p>(1) 乳幼児健康診査の受診率は、例年と同様97%以上の高水準を維持している。 <乳幼児健康診査対象者数、受診者数></p> <table border="1" data-bbox="557 348 1656 548"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">3~4か月児</th> <th colspan="2">1歳6か月児</th> <th colspan="2">3歳児</th> </tr> <tr> <th>対象者数</th> <th>37,548人</th> <th>39,828人</th> <th>医科</th> <th>歯科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>34,619人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>33,962人</td> <td>36,902人</td> <td>36,528人</td> <td>38,978人</td> <td>38,456人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>98.1%</td> <td>98.3%</td> <td>97.3%</td> <td>97.9%</td> <td>96.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 3歳児健康診査の『視覚検査』異常の疑いありの割合は、2023年度、15.0%で増加傾向にある。視覚検査においては、屈折検査機器の導入が進んでいる。</p> <p><3歳児健康診査 視覚検査の各所見の割合></p>  <p><屈折検査機器の導入について (R5.9健康対策課調べ)></p> <table border="1" data-bbox="1323 747 1679 947"> <thead> <tr> <th>導入時期</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度末までに導入</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>令和4年度末までに導入</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>令和5年度中の導入予定</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>令和6年度中の導入予定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>導入予定なし</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 各月齢に応じた事故防止対策をしている家庭の割合は、2023年度、3~4か月児健康診査（誤飲）79.2%、1歳6か月児健康診査（浴室）57.7%、3歳児健康診査（転落）96.2%であり、経年的に増加傾向であった。 <各健康診査 各月齢に応じた事故防止対策をしている家庭の割合></p>  <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児健康診査後に転入する児については、3歳児健康診査で精神発達の遅れを把握することがあるため、転入前の市町村との連携が必要である。 <p>2 乳幼児の歯・口腔の育成に関する取組について</p> <p>(1) マニュアル第10版では、「口腔機能」について1歳6か月児及び3歳児健康診査の4つの共通問診『飲み込めない・かまずに丸飲み』、『食事のときに足裏が床についている』、『水分を飲むときに使用するもの』、『口を閉じて食べる』を追加した。問診により保護者に気づきを促しながら、多職種での助言・支援に努めている。</p> <p>(2) 2023年度から「障害児（者）口腔機能育成支援事業」を開始し、口腔機能の育成に係る地域の相談支援体制整備を進めている。</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの共通問診に対応した県作成リーフレット「こどものお口を育てるヒント集」を、健診時の指導等に大いに活用して欲しい。 口腔機能育成支援事業をさらに展開して、歯科医師と幼稚園、保育園、行政保健師などの多職種連携による相談支援に繋げていきたい。 <p>3 次期母子保健計画について</p> <p>2024年度が現行の愛知県母子保健計画の最終年度であることから、策定作業を進めている次期愛知県母子保健計画について協議し、計画案について了承を得た。</p> <p>4 「1か月児」健康診査及び「5歳児」健康診査について</p> <p>国の動向及び県健康対策課の取組状況について共有した。</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村の実情に応じて、5歳児健康診査の実施体制づくりを進める必要がある。 <div data-bbox="1614 1493 2778 1612" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2024年6月5日（水）県健康対策課主催 母子保健指導者研修会 テーマ：実践報告 高浜市及び蟹江町（先行自治体）「5歳児健康診査について」 参加者：83所属（53市町村、県保健所、児童（・障害者）相談センター）計152名参加</p> </div> <p>5 愛知県母子健康診査マニュアル（第10版）の一部改正について</p> <p>国の乳幼児健康診査の問診項目の改正に伴い、愛知県母子健康診査マニュアル情報の一部改定について了承を得た。</p> <p>6 あいちの母子保健ニュースについて</p> <p>以下の4項目について作成し、2025年3月に発行予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 乳幼児健康診査の結果 (2) みよし市の取組「こども家庭センター設置による切れ目ない支援」 (3) 日本歯科衛生士会作成「赤ちゃん・子どものお口の発達支援ガイド」 (4) 東栄町の取組「乳幼児を育てる保護者を対象とした性教育」 <p>7 今後の対応</p> <p>乳幼児健康診査について、県保健所及び管内市町村はマニュアル情報を活用し個別データの分析・評価などにより、疾病スクリーニング及び切れ目ない支援の充実を図る。</p> <p>5歳児健康診査について、県内市町村における実施体制の構築のため、県健康対策課として取組を進める。</p>		3~4か月児	1歳6か月児		3歳児		対象者数	37,548人	39,828人	医科	歯科	対象者数	34,619人					受診者数	33,962人	36,902人	36,528人	38,978人	38,456人	受診率	98.1%	98.3%	97.3%	97.9%	96.6%	導入時期	市町村数	令和3年度末までに導入	21	令和4年度末までに導入	14	令和5年度中の導入予定	14	令和6年度中の導入予定	1	導入予定なし	3
	3~4か月児			1歳6か月児		3歳児																																				
		対象者数	37,548人	39,828人	医科	歯科																																				
対象者数	34,619人																																									
受診者数	33,962人	36,902人	36,528人	38,978人	38,456人																																					
受診率	98.1%	98.3%	97.3%	97.9%	96.6%																																					
導入時期	市町村数																																									
令和3年度末までに導入	21																																									
令和4年度末までに導入	14																																									
令和5年度中の導入予定	14																																									
令和6年度中の導入予定	1																																									
導入予定なし	3																																									

イ 安心安全な妊娠出産推進委員会（2024年9月5日開催）

【目的】 妊娠出産に関する母子保健上の課題や効果的な取組等について検討し、安心安全な妊娠出産の実現及び児童虐待予防を推進し、子どもの健やかな育ちを支援する体制の構築を目指す。

構成員	主な協議事項及び結果																																																				
<p><委員長> 加藤千豊 (愛知県産婦人科医会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・県産婦人科医会 ・県薬剤師会 ・県助産師会 ・児童虐待予防対策関係者 ・保健師(県、市町村) ・県教育委員会 (学校保健関係) <p style="text-align: right;">計 13名</p>	<p>1 妊娠・出産をとりまく状況について 妊娠届、出生数及び出生率(人口千対)、産後ケア事業実績の年次推移など妊娠・出産をとりまく状況について、共有した。 産後ケア事業について、実績は増加している。類型(宿泊型、デイサービス型、アウトリーチ型)は、本人の希望や支援内容により選択されている。</p> <p><出生数及び出生率(人口千対)の年次推移></p>  <p><産後ケア事業実績の年次推移></p> <table border="1" data-bbox="1893 506 2840 934"> <thead> <tr> <th rowspan="2">市町村</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">宿泊型</th> <th colspan="2">デイサービス型</th> <th colspan="2">アウトリーチ型</th> <th rowspan="2">実数計</th> <th rowspan="2">延数計</th> <th rowspan="2">分娩件数</th> <th rowspan="2">実数計/分娩件数=利用率</th> </tr> <tr> <th>実数</th> <th>延べ数</th> <th>実数</th> <th>延べ数</th> <th>実数</th> <th>延べ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">合計</td> <td>2021</td> <td>456</td> <td>1,768</td> <td>283</td> <td>1,250</td> <td>207</td> <td>608</td> <td>946</td> <td>3,626</td> <td>54,247</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>659</td> <td>2,122</td> <td>550</td> <td>1,591</td> <td>271</td> <td>820</td> <td>1,480</td> <td>4,533</td> <td>51,409</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>1,011</td> <td>3,975</td> <td>1,448</td> <td>1,522</td> <td>379</td> <td>915</td> <td>2,838</td> <td>6,412</td> <td>48,641</td> <td>5.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">分娩件数：人口動態統計(出産(出生及び死産)をした母の数)</p> <p>2 次期愛知県母子保健計画の策定について 2024年度が現行の愛知県母子保健計画の最終年度であることから、策定作業を進めている次期愛知県母子保健計画について協議し、了承を得た。</p> <p>(1) 現行愛知県母子保健計画の進捗状況について (2) 次期母子保健計画について (3) さまざまな問題を抱える妊婦への支援の拡充について</p> <p>本県では、従前から女性の健康相談事業として、妊娠・出産、性に関する健康問題等に関する電話相談を実施してきたが、日常的に電話で話をする機会が少ない若い世代にとっては、相談のハードルが高いものとなっていた。</p> <p>そこで、若年妊婦等が相談しやすい体制を整備するため、2023年10月から、電話相談に加えてSNSを活用した相談体制を構築するとともに、相談者のうち予期せぬ妊娠や経済的問題などを抱えた妊婦に、産科受診同行等のアウトリーチ型の相談支援を開始している。</p> <p>また、多胎妊娠の不安を軽減するため多胎ピアサポート事業も2023年10月から実施している。</p> <p><主な意見> 具体的な取り組みとして、以下の意見をいただいた。</p> <p>(1) 思春期教育について、全生徒に実施することが必要、思春期教育実施後の反応についても把握する必要がある。 (2) 体罰禁止と面談DVについて、母子保健事業を活用し各家庭に周知する必要がある。 (3) 妊娠・授乳サポート薬剤師*の母子保健事業での活用について、県から市町村へ促して欲しい。</p> <p>*) 妊娠・授乳サポート薬剤師：愛知県薬剤師会が開催する研修を修了し、妊娠、授乳中の女性からの薬の相談にお応えする薬剤師</p> <p>3 HTLV-1 母子感染予防のための手引き書(医療機関・保健機関関係者用)の改訂について</p> <p>4 今後の対応</p> <p>(1) 次期愛知県母子保健計画の策定について、委員の意見を参考に策定を進める。 (2) 2023年度に開始した若年妊婦等を対象としたSNSを活用した相談、産科受診同行等のアウトリーチ型の相談支援について、これらの取組がさらに有効な取組となるよう相談体制の充実を図り、引き続き、支援が必要な対象者へ届くよう様々な情報発信に取り組む。</p>	市町村	年度	宿泊型		デイサービス型		アウトリーチ型		実数計	延数計	分娩件数	実数計/分娩件数=利用率	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	合計	2021	456	1,768	283	1,250	207	608	946	3,626	54,247	1.7%	2022	659	2,122	550	1,591	271	820	1,480	4,533	51,409	2.9%	2023	1,011	3,975	1,448	1,522	379	915	2,838	6,412	48,641	5.8%
市町村	年度			宿泊型		デイサービス型		アウトリーチ型						実数計	延数計	分娩件数	実数計/分娩件数=利用率																																				
		実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数																																														
合計	2021	456	1,768	283	1,250	207	608	946	3,626	54,247	1.7%																																										
	2022	659	2,122	550	1,591	271	820	1,480	4,533	51,409	2.9%																																										
	2023	1,011	3,975	1,448	1,522	379	915	2,838	6,412	48,641	5.8%																																										